

OSAKA, KANSAI, JAPAN  
**EXPO2025**

TEAM  
**EXPO**  
2025



# おかやまSDGsフェア2024

## 開催計画

(2024年7月12日現在)



大阪・関西万博公式キャラクター  
ミャクミャク

©Expo 2025

おかやまSDGsフェア実行委員会

(構成団体: 一般社団法人岡山経済同友会 岡山商工会議所 岡山大学 岡山県 岡山市  
真庭市 株式会社中国銀行 山陽新聞社 特定非営利活動法人岡山NPOセンター  
公益社団法人おかやま観光コンベンション協会 株式会社岡山コンベンションセンター)

# 目次

---

|       |                  |         |             |
|-------|------------------|---------|-------------|
| 開催概要  | ...              | P 3 ~ 4 |             |
| 開催テーマ | ...              | P 5     |             |
| 会場計画  | ...              | P 6 ~ 7 |             |
| プログラム | 1 発表             | ...     | P 8 ~ 1 2   |
|       | 1 / 2 発表・ワークショップ | ...     | P 1 3 ~ 1 4 |
|       | 2 ワークショップ        | ...     | P 1 5       |
|       | 3 ブース・パネル展示      | ...     | P 1 6       |
| 収支予算  | ...              | P 1 7   |             |

# 開催概要\_1

【名称】 おかやまSDGsフェア2024 ～子どもたちと学ぶ私たちの未来～

## 【開催趣旨】

2025年大阪・関西万博との共創を柱に、（公社）2025年日本国際博覧会協会を招聘するとともに「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ団体など県外からもSDGs活動団体の参加を呼びかけ、子どもたちと学び交流することを通じて持続可能な未来への課題と行動を共有する機会とします。また、瀬戸内海をひとつのテーマとして岡山エリアにおける優れた取組を束ね、万博を通じて国内外に情報発信していくことを目指すキックオフとします。

### ＜開催コンセプト＞

- ・ すべての人々に開かれた学び
- ・ 分野を越えた多様性の出会い
- ・ 交流・対話の創出とパートナーシップの拡大
- ・ 国内外に向けた情報発信
- ・ 未来に向けたさらなる発展

～ウェルビーイングな「SDGsモデルエリア」を目指して～



大阪・関西万博公式キャラクター  
ミャクミャク

【日時】 2024年8月6日（火） 10：00～16：00 、 17：00～「パートナーシップ交流会」  
7日（水） 10：00～16：00

【会場】 岡山コンベンションセンター「レセプションホール」（岡山市北区駅元町14番1号）  
岡山県医師会館「三木記念ホール・401会議室」（岡山市北区駅元町19番2号）  
リットシティビル「ひかりの広場」（岡山市北区駅元町15番1号）

# 開催概要\_2

---

## 【主催】

おかやまSDGsフェア実行委員会

※構成団体：一般社団法人岡山経済同友会 岡山商工会議所 岡山大学 岡山県 岡山市  
真庭市 株式会社中国銀行 山陽新聞社 特定非営利活動法人岡山NPOセンター  
公益社団法人おかやま観光コンベンション協会  
株式会社岡山コンベンションセンター

## 【協力】

岡山大学DS部 岡山大学ローターアクトクラブ

## 【後援】（予定）

内閣府地方創生推進室 中国経済産業局 四国経済産業局 中国四国地方環境事務所  
日本政府観光局（JNTO） 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 公益財団法人大阪観光局  
瀬戸内オーシャンズX推進協議会 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会

# 開催テーマ

## 【全体テーマ】

子どもたちと学ぶ私たちの未来



## 【個別テーマ】

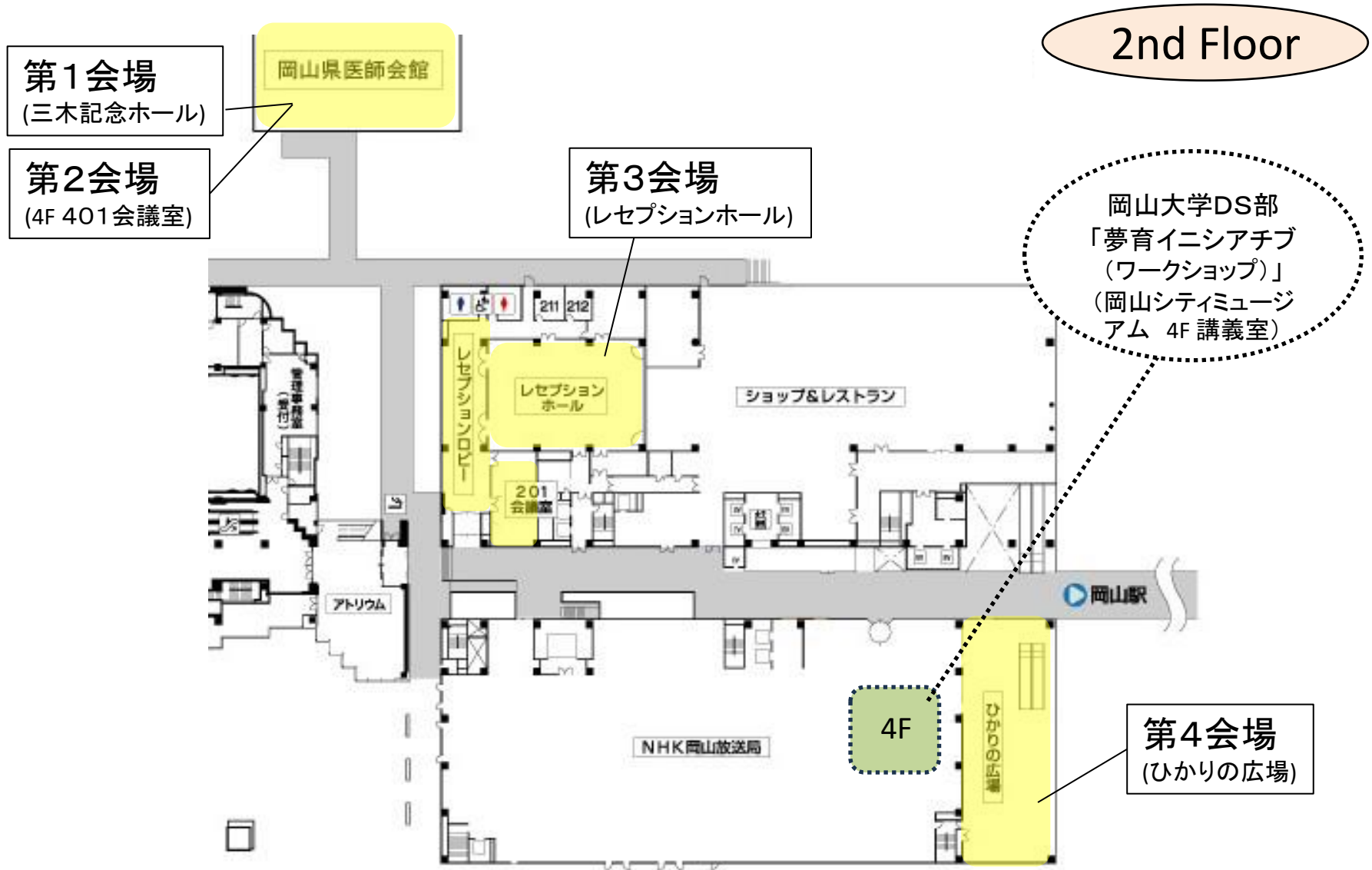
- 2025年大阪・関西万博との共創
- 瀬戸内海～里海の未来～
- 森と自然と地球と暮らす
- 未来を培う文化・芸術



提供：2025年日本国際博覧会協会



# 会場計画\_全体



# 会場計画\_会場別

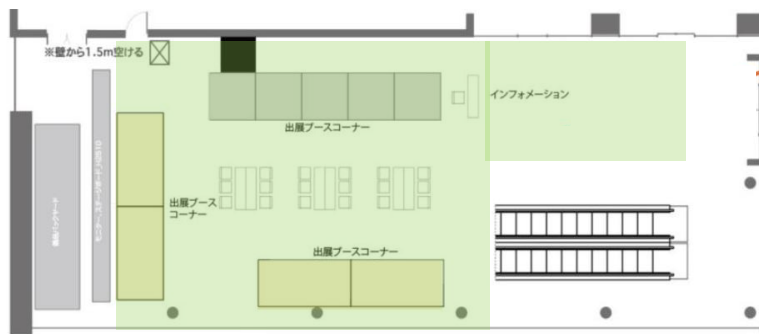
## 岡山県医師会館(第1・2会場) 【三木記念ホール・401会議室】



発表

WS

## ひかりの広場(第4会場)



ブース展示・WS

パネル展示

## 岡山コンベンションセンター(第3会場) 【レセプションホール・201会議室・ロビー】



# プログラム\_1 発表（第1会場）

【8月6日(火)】 開会式（10：00～10：30）、 発表（10：30～16：00）



河瀬パビリオンのキービジュアル



©LESLIE KEE

ビデオメッセージ

河瀬直美 氏

大阪・関西万博テーマ事業  
プロデューサー  
ユネスコ親善大使



総合司会

未来 氏  
(オーリス 取締役)

## ■ 発表 1

「大阪・関西万博における持続可能性への取組と子ども・若者（仮）」

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 企画局上席審議役 兼 持続可能性部長

永見 靖 氏



【水素ガスタービン】



【アンモニアガスタービン】

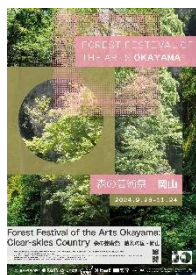
大阪・関西万博はSDGs万博とも言われて、参加国、参加機関、参加民間団体のパビリオンはもちろんのこと会場全体がSDGsと絡めた取組、展示、とりわけ子どもを対象にしたものを行っている。こうした取組、展示について主催者である博覧会協会が行うものを中心に紹介して、子ども・若者にとっての万博の意義を紹介する。

## ■ 発表 2

「地域資源を活用した『森の芸術祭 晴れの国・岡山』の開催について（仮）」

岡山県産業労働部観光課（「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会事務局）主事

青木 咲暁 氏



「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催概要、展開予定を説明し、本芸術祭における地域資源を最大限に生かす取組について紹介する。

# プログラム\_1 発表（第1会場）

## ■ 発表 3 「ユネスコSDGs パスポート体験発表会」

岡山ユネスコ協会

岡山市立操山中学校・岡山大学附属中学校の生徒



幼児や小学生、高齢者、障害のある方など、様々な人とのつながりの中で、福祉や平和、環境、地域の文化等に係わる活動を通して、持続可能な社会を実現するために考えたことを発表する。

## ■ 発表 4 「リッタで子どもと楽しく学ぶSDGs・ユネスコ創造都市ネットワークの紹介」

岡山市・岡山市文学賞運営委員会

アップービレッジ有限会社 代表取締役社長

ムラカミヨシコ 氏ほか数名



ユネスコ創造都市ネットワークに関する紹介及び岡山市SDGs推進パートナーズ参加企業であるアップービレッジ有限会社が取り組む、子どもが楽しくSDGsを知るアニメ「リッタ」の動画上映や活動紹介を行う。

## ■ 発表 5 「能登半島地震の支援から見えるもの」

森田 靖 氏（災害支援ネットワークおかやま 世話人代表）

詩叶 純子 氏（特定非営利活動法人岡山NPOセンター 地域連携センター主任アドバイザー（災害支援））

能登復興ネットワーク いやさか

萩原工業株式会社

能登での支援を中心に現場での支援に携わった人や支援に不可欠なブルーシートや土のう袋を生産している人など、様々な角度から災害支援に携わった人たちの話から災害支援に必要なものを考える。



# プログラム\_1 発表（第3会場）

【8月6日(火)】 13:00～15:20

## ■公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

「EXPO 2025 大阪・関西万博のご紹介（仮）」

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

深澤 一宏 氏、澤田 有希子 氏



## ■電気事業連合会

「電力館 可能性のタマゴたち（仮）」

電気事業連合会 岡田 康伸 氏

## ■「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ団体等（調整中）

- ・岡山SDGs未来都市連絡協議会
- ・株式会社フジワラテクノアート
- ・株式会社リプロ
- ・一般社団法人DESIGN GOALS
- ・FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO
- ・MANIWA×SDGs
- ・チームバイオエナジー
- ・いまばりのイロ
- ・グリーンチャレンジ

# プログラム\_1 発表（第3会場）

【8月7日(水)】

## ■大阪・関西万博ベストプラクティス応募団体（県内）（13:00～14:00）

### ●「市民は解決者！シチズンサイエンスによる 海洋ごみ問題解決プロジェクト」

山陽学園中学・高等学校 地歴部 部長  
福原 琉奈 氏



海洋ごみ問題の解決にはごみの回収活動と啓発活動でその量を減らしていくことは大切ですが、一部の意識ある人の活動が中心であり、市民全体での取組に広がっていない課題認識を持ちました。そこで、ごみの廃棄者である市民も解決者にもなることを実践するべく、「シビック・テック」を活用して市民が海洋ごみにつながる街中の散乱ごみを調査できるアプリを作成して、市民に隙間時間を利用して調査してもらっています。市民からの送信データから、ごみの種類・個数・場所を集計・考察して、ごみのホットスポットを明確にすると共に、データから作成した地図は市民へ還元するために地域へ配布しています。日常生活の中でも容易に海洋ごみ問題の解決に寄与できるシチズンサイエンスの取組で、美しい瀬戸内海を目指したいと考えています。

### ●「高校生の開発商品販売を通した 海洋課題解決啓発アクション」

岡山高等学校3年  
小池 怜 氏 ほか数名



「総合的な探究の時間」で海洋課題について学びながら、牡蠣殻を肥料として使用する里海米の生産や瀬戸内の魚を素材として使用する缶詰開発に取り組み、その販売を通して啓発アクションを行っています。

### ●「瀬戸内の海とつながる おかやまの農畜産物 『瀬戸内かきがらアグリ』」

瀬戸内かきがらアグリ推進協議会 事務局長  
小原 久典 氏

瀬戸内海で水揚げされた牡蠣の殻（かきがら）を有効活用して農畜産物の生産性を高める地域循環環境保全型農業を展開しています。



わたしたちは「瀬内海」である瀬戸内海で育てられた牡蠣殻を有効活用する地域循環環境保全型農業「瀬戸内かきがらアグリ」を展開しています。

# プログラム\_1 発表（第3会場）

- 『『キッチンからバイオマス』  
～持続可能なゴミ処理 生ごみ資源化事業～』

真庭市役所生活環境部環境課長  
石田 明義 氏



ゴミ処理費用の削減と有機性廃棄物の活用を目的とした「生ごみ資源化」の取組に向けて、市民→「生ごみの分別」を市民全員で取り組む。バイオ液肥で低コスト農業を実現。市→「生ごみ等資源化施設」を開設し、廃棄処理コストやCO<sup>2</sup>を削減。バイオ液肥製造を拡大。ごみを「燃やす」より「減らし・活かす」の実現へに向け、市民と市の取組を発表。

- 「障がい者の真の声と姿よ、届け！  
『PARAメッセージフェス』」

株式会社ありがとうファーム 取締役副社長  
馬場 拓郎 氏 ほか数名



障がい者は何もできないわけではない、適切なサポートがあれば社会の一員として十分に活躍できるということをメッセージとともに発信し、障がいの有無にかかわらず、ともに助け合い生きていく共生社会の実現に挑戦。

## ■ 夢育イニシアチブ（14：30～16：00）

### 岡山大学DS部

岡山大学DS部が、岡山大学および岡山県教育委員会と正課外活動として共同で行っている「おかやま夢育イニシアチブ」事業です。今回は「瀬戸内海×ビジネス」をテーマに高校生がディスカッションを行う予定です。



## 特定非営利活動法人 Blue Earth Project

NPO法人Blue Earth Projectは「あしたも青い地球で逢いたい」をキャッチフレーズに、今地球上に起きている環境問題と自分たちとの関係性を考え、解決につながる身近なアクションを社会に啓発しているNPO団体です。現代の高校生は、国連のSDG s 達成目標年の2030年には若い世代のリーダーとなる存在であり、日本政府が掲げる脱炭素社会実現目標の2050年には責任ある社会人の中核となっていく存在です。そんな次世代を担う高校生（一部中学生）と共に環境問題に取り組む大学生の団体で、教師や親より近い距離で、一見堅苦しい「環境問題」に楽しみながら取り組むことができます。

Blue Earth塾とは、教室の中での学習だけではなく、やがて社会の一員になる中・高校生に環境問題を知る、考える、行動する、の3つを柱に体験してもらうワークショップで、これまで全国の中高生を対象に累計150校・2000人以上を対象に実施してきました。高校時代Blue Earth Projectで実際に環境啓発活動を行った女子大生が、学生に向けて今地球で起こっている様々な環境問題と、それが自分たちと関係していることを伝えます。その後、高校生が課題解決に貢献できる身近なアクションプランを考案・発表します。今回は、瀬戸内海の現状に焦点を当て、深刻化している海洋環境問題の中で特に大きな課題となっている海ごみ問題への理解を深める機会を提供します。



# プログラム\_1/2 発表・ワークショップ（第2・3会場）

14

【8月6日(火)】（第2会場） 13:00～16:00

## ■ Blue Earth 塾

### ワークショップ

高校生に向けて海ごみをテーマに環境問題の現状についてエコレクチャーを行い、海ごみ削減のためのディスカッションで発信方法を考えてもらう。その後、コンテストで選ばれた案を実際にSNSで発信する。またワークショップを通して学んだ事をもとに、脱炭素宣言を行う。

目的：環境問題についての知識の提供を行い、環境問題に対する関心を高め、実際の行動に移してもらいたい。



【8月7日(水)】（第3会場） 10:30～11:30

## ■ 活動発表

「次世代の若者が創る未来『Blue Earth Project』」  
特定非営利活動法人 Blue Earth Project

- ・ 団体紹介
- ・ 当団体の万博出場（FLE）
- ・ SDGs（脱炭素）
- ・ 関西での環境問題への取組
- ・ Blue Earth Project高校部の活動紹介



# プログラム\_2 ワークショップ (第2・4会場)

【8月6日(火)・7日(水)】 (第4会場) 10:00~16:00

■ オフィシャルパートナー企業 ワークショップコーナー

【8月7日(水)】 (第2会場) 10:00~16:00

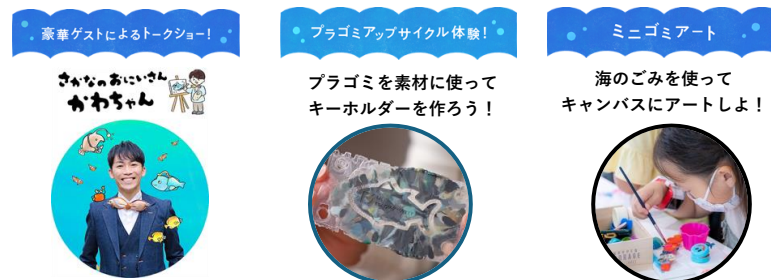


国内外70チームを拠点にごみ拾い活動を行う  
NPO法人green birdが2018年よりスタートした  
海の問題と夏休みの自由研究を掛け合わせた  
「海の自由研究フェス」が今年は岡山で初開催!

海に関連する問題をテーマにしたワークショップ!



その他にも様々なコンテンツをラインナップ!



# プログラム\_3 ブース・パネル展示（第3・4会場）<sup>16</sup>

【8月6日(火)・7日(水)】 10:00~16:00

## 第3会場

＜ブース出展＞：最大20ブース（背面パネル W1800+机 1本）

- 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- 特定非営利活動法人 Blue Earth Project
- 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ登録団体
- 「TEAM EXPO 2025」プログラム／ベストプラクティス応募団体
- おかやまSDGsフェア実行委員会構成団体
- S D G s に因んだ飲食コーナー

＜パネル展示＞

- おかやまSDG s アワード受賞団体

## 第4会場

- オフィシャルパートナー企業

- ・大ブース（W3960×D1980） × 2小間
- ・小ブース（W1980×D1980） × 5小間

## パートナーシップ交流会

※8月6日(火) 17:00~19:00（第3会場）



カンパンレシピ

協力：ANAクラウンプラザホテル岡山、岡大DS部



SDGsなドリンク

進行協力：岡山大学ローターアクトクラブ

TEAM  
EXPO  
2025



おかやまSDGsフェア実行委員会が取り組む「おかやまSDGsフェア」は、  
2025年日本国際博覧会の「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジとして  
登録されています。

「おかやまSDGsフェア実行委員会」は、2025年日本国際博覧会の  
「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーとして登録されています。



大阪・関西万博公式キャラクター  
ミャクミャク